

第34回東京支部秋期学術大会 プログラム表

日時：平成27年11月28日(土) 9：00～17：10（8：30受付開始）

会場：駒澤大学 駒沢キャンパス 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1

テーマ：「“Skills and Literacy” —画像を読み解く力を研ぎ澄ます—」

会費：会員 2,000円 非会員 5,000円 学生 500円 学生会員 無料

	第1会場 (301教場)	第2会場 (203教場)
9：00	9：00～9：50 一般研究発表1 CT (5演題) 座長：小林 隆幸 三浦 茂樹	9：00～9：50 一般研究発表3 MRI・管理 (5演題) 座長：福沢 圭 笠原 朗弘
10：00	9：50～10：40 一般研究発表2 一般撮影 (5演題) 座長：森 剛 阿部由希子	9：50～10：30 一般研究発表4 治療・防護 (4演題) 座長：佐藤 智春 西形 勝宏・落合幸一郎
11：00	10：40～11：30 教育講演-1 「腱・靭帯付着部症の画像診断」 米永 健徳 司会：樋口 壮典	10：30～11：50 関連学セッション 新野 俊之 青柳 和宏 中沢 洋平 源馬 耕平 司会：関本 道治 林 博章
12：00	11：50～12：50 ランチョンセミナー1 (204教場) 「低線量撮影を追求したDRシステムと最新画像処理技術 ～FUJIFILM DR Low-Dose Solutions～」 大島 裕二 司会：吉田 和則	11：50～12：50 ランチョンセミナー2 (203教場) 「SIEMENS CTの基礎から最新技術」 大西 哲夫 司会：樋口 壮典
13：00	12：50～13：50 特別講演 「立位・座位・歩行時の脊椎矢状面アライメント変化を読み解く」 遠藤 健司 司会：吉田 和則	
14：00	13：50～14：30 教育講演-2 「救急を知り画像を読むこと」 坂下 恵治 司会：森 剛	
15：00	14：30～17：10 マルチモダリティシンポジウム テーマ「画像を読み解く力を研ぎ澄ます」 一般：「We can see what we know.」 丸山 智之 CT：「患者に会うを画像に活かす」 皆川 利浩 MRI：「画像を読み解く力を研ぎ澄ます—MRI編—」 谷畑 誠司 循環器：「画像を読み解く力を研ぎ澄ます—IVR編—」 岡崎 憲吾 治療：「放射線治療における画像診断 Skill の必要性」 吉岡 稔 司会：吉田 和則 樋口 壮典	
17：10	閉会式	
17：40	情報交換会 (学生食堂2階) 当日受付	

第34回東京支部秋期学術大会 プログラム

平成27年11月28日(土)

【第1会場】301教場

一般研究発表「CT」 09:00~09:50 (301教場)

座長：小林 隆幸（北里大学北里研究所病院・CT撮影技術研究班）

三浦 茂樹（慶應義塾大学病院・CT撮影技術研究班）

1. 肺静脈カテーテルアブレーションマッピング用CTのプロトコルの検討について
NTT 東日本関東病院 松島 翼
2. CT-Angiography における monitoring 時リアルタイム画像の評価 東邦大学医療センター大森病院 川島 潤之
3. First kV Switching を用いた Dual-energy CT による痛風画像解析方法の検討
東京大学医学部附属病院 中田 健太
4. Femoroacetabular impingement 診断のための CT を用いた股関節評価 東京医科大学病院 横山 剛
5. 頭部 CT-digital subtraction angiography (CT-DSA) における NPS モデル逐次近似応用再構成法の画質評価
慶應義塾大学病院 益田 翔太

一般研究発表「一般撮影」 09:50~10:40 (301教場)

座長：森 剛（帝京大学医学部附属病院・一般撮影技術研究班）

阿部由希子（東京慈恵会医科大学附属病院・一般撮影技術研究班）

6. FPD を用いたカテーテル・ガーゼ強調画像の性能評価 東京慈恵会医科大学附属病院 塩田 翔一
7. FPD を用いた胸部 X 線検査における欠損自動認識機能の性能評価 東京慈恵会医科大学附属病院 中村 賢二
8. Femoroacetabular impingement : FAI 診断における X 線撮影 Dunn view 法の評価 東京医科大学病院 横山 剛
9. 第5中手骨頸部骨折における骨折の方向から考える最適撮影角度の検討 昭和大学病院 佐藤 拓洋
10. Tomosynthesis による画像処理を用いた頸動脈ステント内の描出の試み 日本医科大学千葉北総病院 阿部 晃大

教育講演-1 10:40~11:30 (301教場)

司会：樋口 壮典（東京慈恵会医科大学附属病院・実行委員長）

「腱・靭帯付着部症の画像診断」 東京慈恵会医科大学 米永 健徳

特別講演 12:50~13:40 (301教場)

司会：吉田 和則（東京医科大学病院・大会長）

「立位・座位・歩行時の脊椎矢状面アライメント変化を読み解く」 東京医科大学病院 遠藤 健司

教育講演-2 13:40~14:30 (301教場)

司会：森 剛（帝京大学医学部附属病院・一般撮影技術研究班）

「救急を知り画像を読むこと」 りんくう総合医療センター 泉州南部卒後臨床シミュレーションセンター 坂下 恵治

マルチモダリティシンポジウム 14:30~17:10 (301教場)

座長：吉田 和則（東京医科大学病院・大会長）

樋口 壮典（東京慈恵会医科大学附属病院・実行委員長）

- ・テーマ「画像を読み解く力を研ぎ澄ませます」
- 一般撮影：「We can see what we know.」 日本医科大学千葉北総病院 丸山 智之
- C T：「患者に会うを画像に活かす」 三井記念病院 皆川 利浩
- M R I：「画像を読み解く力を研ぎ澄ませます—MRI編—」 東京女子医科大学病院 谷畑 誠司
- 循環器：「画像を読み解く力を研ぎ澄ませます—IVR編—」 東京医科大学病院 岡崎 憲吾
- 放射線治療：「放射線治療における画像診断 Skill の必要性」 がん研究会有明病院 吉岡 稔

「第2会場」203教場

一般研究発表「MRI・管理」 09:00~09:50 (203教場)

座長：福沢 圭 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院・MR撮影技術研究班)

笠原 朗弘 (東京大学医学部附属病院・MR撮影技術研究班)

- | | | |
|--|------------------|-------|
| 11. 頸部領域における Radial VIBE 法の撮像条件の基礎的検討 | がん・感染症センター都立駒込病院 | 山崎 雅史 |
| 12. 3T と1.5T MRI における Spin Echo 法の有用性の比較検討 | 東京都立神経病院 | 佐藤由起子 |
| 13. 当院における診断用 X 線防護衣の保清管理と保守管理 | イムス葛飾ハートセンター | 米澤 俊和 |
| 14. 推奨管電圧外での矩形波チャートを用いた presampled MTF | 帝京大学 | 大淵 加奈 |
| 15. 放射線被ばくの知識と風評被害について —福島原発事故事例— | 日本医療科学大学 | 岩瀬 慎人 |

一般研究発表「治療・防護・計測」 09:50~10:30 (203教場)

座長：佐藤 智春 (がん研有明病院・放射線治療技術研究班)

西形 勝宏 (東部地域病院・放射線管理・防護・計測研究班)

落合幸一郎 (稲城市立病院・放射線管理・防護・計測研究班)

- | | | |
|------------------------------------|---------|-------|
| 16. 水ファントムスキヤニング測定における水面の乱れの影響 | 駒澤大学大学院 | 佐藤 優樹 |
| 17. 透過型線量計を用いたビームデータ測定における表面線量への影響 | 駒澤大学大学院 | 小林 裕直 |
| 18. 簡易形線量計における管電圧補正の精度に関する検討 | 首都大学東京 | 瀬名波 慎 |
| 19. 乳房用簡易形線量計における管電圧補正と日常管理への適用 | 首都大学東京 | 小倉 泉 |

関連学セッション 10:30~11:30 (203教場)

司会：関本 道治 (筑波大学・関連学委員会)

林 博章 (関連学委員会)

- | | | |
|--|-----------------|-------|
| 1) 最新の被ばく低減技術を搭載した0.5mm×16列 CT Aquilion™ Lightning の開発 | 東芝メディカルシステムズ(株) | 新野 俊之 |
| 2) オープン MRI 「AIRIS Light」 の開発 | (株)日立メディコ | 青柳 和宏 |
| 3) QC 用 X 線測定器 RaySafe™ X 2 の特長と新機能 | トーレック(株) | 中沢 洋 |
| 4) 1 ショット長尺撮影を実現した「FUJIFILM DR CALNEO GLTM」 の開発 | 富士フイルム(株) | 源馬 耕平 |

ランチョンセミナー1 11:40~12:40 (204教場)

司会：吉田 和則 (東京医科大学病院・大会長)

「低線量撮影を追求した DR システムと最新画像処理技術 ~FUJIFILM DR Low-Dose Solutions~」

富士フイルムメディカル(株) 大島 裕二

ランチョンセミナー2 11:40~12:40 (203教場)

司会：樋口 壮典 (東京慈恵会医科大学附属病院・実行委員長)

「SIEMENS CT の基礎から最新技術」 シーメンス・ジャパン(株) イメージング&セラピー事業本部 大西 哲夫

17:10 閉会式

17:40 情報交換会 (学生食堂)

◆ 研究発表上の注意（お願い）

1. 研究発表について

- 1) 発表データは会場内 PC センターに USB フラッシュメモリーで提出してください。
提出は必ず当該セッションの **1 時間前迄** にお願ひします。
(最初のセッションに關しましては、可能な限り早めにお願ひします)
- 2) 発表者は該当セッションの発表開始 **20 分前迄** に次演者席でお待ちください。
- 3) 当日は試写場を設けますので、試写確認の上発表に臨んでください。
- 4) 発表時間は 1 演題 **7 分以内** とします。発表時間は厳守してください。
- 5) 質疑討論は、座長の指示により 1 演題 **3 分以内** で行います。
- 6) 記述内容については「**生命倫理への配慮**」および「**個人情報保護**」に十分考慮してください。
※ JSRT「倫理規定および倫理規定ガイドライン」を参照してください。
※特に患者またはボランティアの臨床データ（画像データ、検査結果、診断名、個人情報を含む）を用いた研究、観察者実験（視覚評価）、またはアンケート調査が含まれる研究の場合には十分にご注意ください。
※発表後の後抄録作成についても考慮をお願ひします。

2. プレゼンデータについて

【Windows の場合（USB フラッシュメモリ 持込み）】

- 1) コピーされたデータは本大会終了後、主催者側で責任をもって消去します。
- 2) 発表データを USB フラッシュメモリーに保存する際には、下記の様式で保存してください。
※アプリケーションソフトは PowerPoint に限定します。
データは Windows : **MS PowerPoint 2007、2010、2013** でご用意ください。
(PowerPoint 2013 を使用の場合は **PowerPoint 2010 形式で保存** して持参ください。)
※フォントは文字化けを防ぐため下記フォントに限定します。
日本語…MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
※動画ファイル形式に関する注意
Windows 7・8 (OS) および Windows Media Player 11 の初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ちください。(動画ファイルは WMV 形式を推奨します)
- 3) プレゼンテーションに他のデータ（静止画・動画・グラフ等）をリンクさせている場合は、必ず元のデータも保存していただき、事前に動作確認をお願ひします。
※作成に使用したパソコン以外で動作確認を必ず事前に行ってください。
- 4) 会場で使用するパソコンの仕様は以下の通りです。
OS : Windows 7 ・ Windows 8
アプリケーションソフト : Windows MS PowerPoint 2010
- 5) 会場内の PC センターでは、ウイルス対策に万全を期していますが、持参したメディアにウイルス感染がないことを確認のうえお持ちください。

【Macintosh の場合（PC 持込み）】

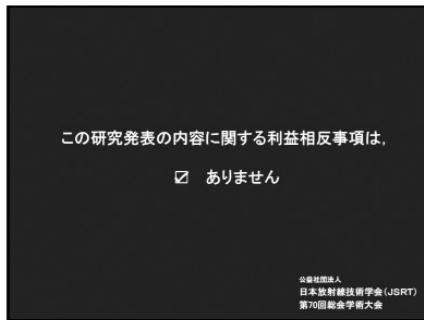
- 1) Macintosh で発表するかたも必ず PC センターまでお越しください。
- 2) 試写用モニターにてケーブル接続確認を行います。
- 3) 会場では D-sub15 ピン（ミニ）のケーブルをご用意していますが、本体付属（別売り）のコネクターが必要な場合がありますので、必ずお持ちください。
- 4) 画面の解像度は XGA (1024×768) 推奨です。
- 5) 動画や音声をご使用になる場合は、PC センターでの確認の際に必ずお知らせください。
- 6) 予めスクリーンセーバー、省電力設定を解除してください。
- 7) 会場にて電源をご用意していますので、AC アダプターを必ずお持ちください。
- 8) バックアップデータを USB フラッシュメモリーにて必ずお持ちください。

3. 利益相反の有無の公開について

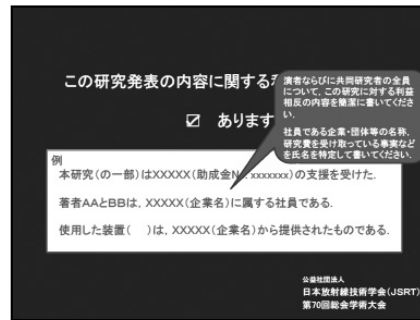
- 1) 発表する研究に關連して、企業等からの補助や援助を受けている場合（金額は問いません）、または、発表演題に關する企業の被雇用者が共同研究者に含まれる場合は、その事実を開示する義務があります。
※詳細は、JSRT 倫理規定 第10条をご覧ください。

- 2) 利益相反は発表スライドの中で必ず公開してください。(2枚目のスライドを推奨します)
 ※下記サンプルを参考にしてください。

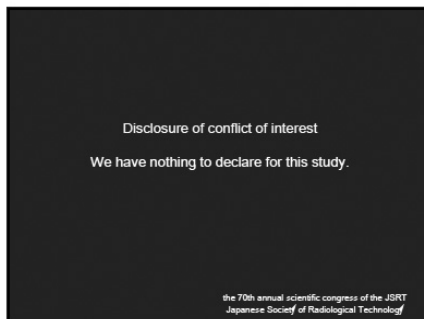
利益相反の公開が不要な演題



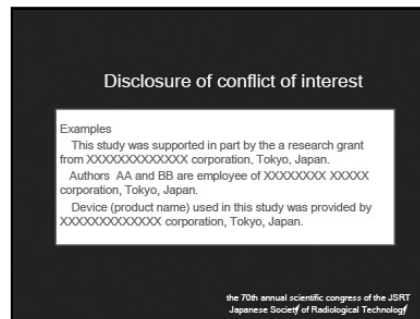
利益相反の公開が必要な演題



利益相反の公開が不要な演題 (英語)



利益相反の公開が必要な演題 (英語)



4. 発表抄録原稿について〔支部雑誌、HP 掲載原稿 (後抄録)〕

- 1) 発表後抄録原稿は支部雑誌、支部 HP に掲載します。
- 2) 原稿の執筆は添付します作成例を参考に作成してください。
- 3) 表題、副題、発表者、共同研究者、所属、施設名、本文(目的・使用機器・方法・結果・考察)の順に記載をお願いします。
- 4) 余白の設定を、上：25mm 下：25mm 右：24mm 左：24mmと設定し、A4一枚に収めてください。レイアウトは、自由ですが雑誌掲載時は都合により編集広報委員会にて変更を行う場合があります。
- 5) 使用フォントは、MSゴシック・MSPゴシックを使用し、フォントサイズは、演題名：18ポイント 所属・氏名・本文は、11ポイントを使用してください。
- 6) 提出ファイルは、上記の設定にてA4一枚に収められた原稿ファイルと、A4一枚に使用されている本文、図表、写真を各別ファイルにて提出をお願いします。雑誌印刷は、白黒ですので図表には気を付けてください。
- 7) ファイル名の付け方
 ファイル名は演題番号とタイトルを入れてください。演題番号は支部雑誌 No. 128に記載されています。
- 8) 締め切り日 平成28年1月31日(日) (東京支部連絡事務所にメール添付にてご提出ください)

問合せ先 公益社団法人 日本放射線技術学会 東京支部連絡事務所
 東京都文京区本郷3-11-9 ピクセルお茶の水101
 E-mail : tokyobukai-adm@umin.ac.jp TEL. 03-5804-2301 FAX. 03-5804-2302

第34回東京支部秋期学術大会 実行委員会

支 部 長	飯田紀世一			
大 会 長	吉田 和則			
実行委員長	樋口 壮典			
総務責任者	福田 舞			
学術責任者	井野 賢司			
編集責任者	濱崎 望			
広報（受付）責任者	磯川 浩治			
受付（登録）	千田 真大	神崎 扇洋	坂本 岳士	古村さやか
	鈴木 友美	林 由歌	藤井 佳太	印東 千夏
	秋元亜璃沙	袴田 大介	古崎 昌宏	増山 桂一
	近江 幸紀	小浴 恵	増田 祥代	田中 志穂
	越沼 沙織	山本 雄三		
財務責任者	飯村 浩	鈴木 雄一	三津田 実	小泉 優貴
受付（財務）	瀧澤 麻美	松元 彩美		
来賓接客係	田中 功			
関連学責任者	名古屋 安伸			
会場責任者	長谷川雅一	谷畑 誠司		
第一会場責任者	阿部 悟	喜久村 力	福澤 圭	
第二会場責任者	横山 剛	中島 大	中島 晃	鈴木 宏明
会場係	圓川 勉	笹沼 和智	関 みさよ	前島 秀幸
	丸山 智之	皆川 利浩	岡崎 憲吾	吉岡 稔
大会企画	森 剛	阿部由希子	小林 隆幸	三浦 茂樹
	笠原 朗弘	西形 勝宏	落合幸一郎	佐藤 智春
	関本 道治	林 博章		
学生スタッフ	石橋 貴徳	白石 美和	内木 勇作	原田 雅美
	木村 美月	平石 拓巳	岩村 知香	平山 憲
	悴田 優紀	鶴巻 郁也	及川 朋子	小林 航平
	陣野 隼汰			